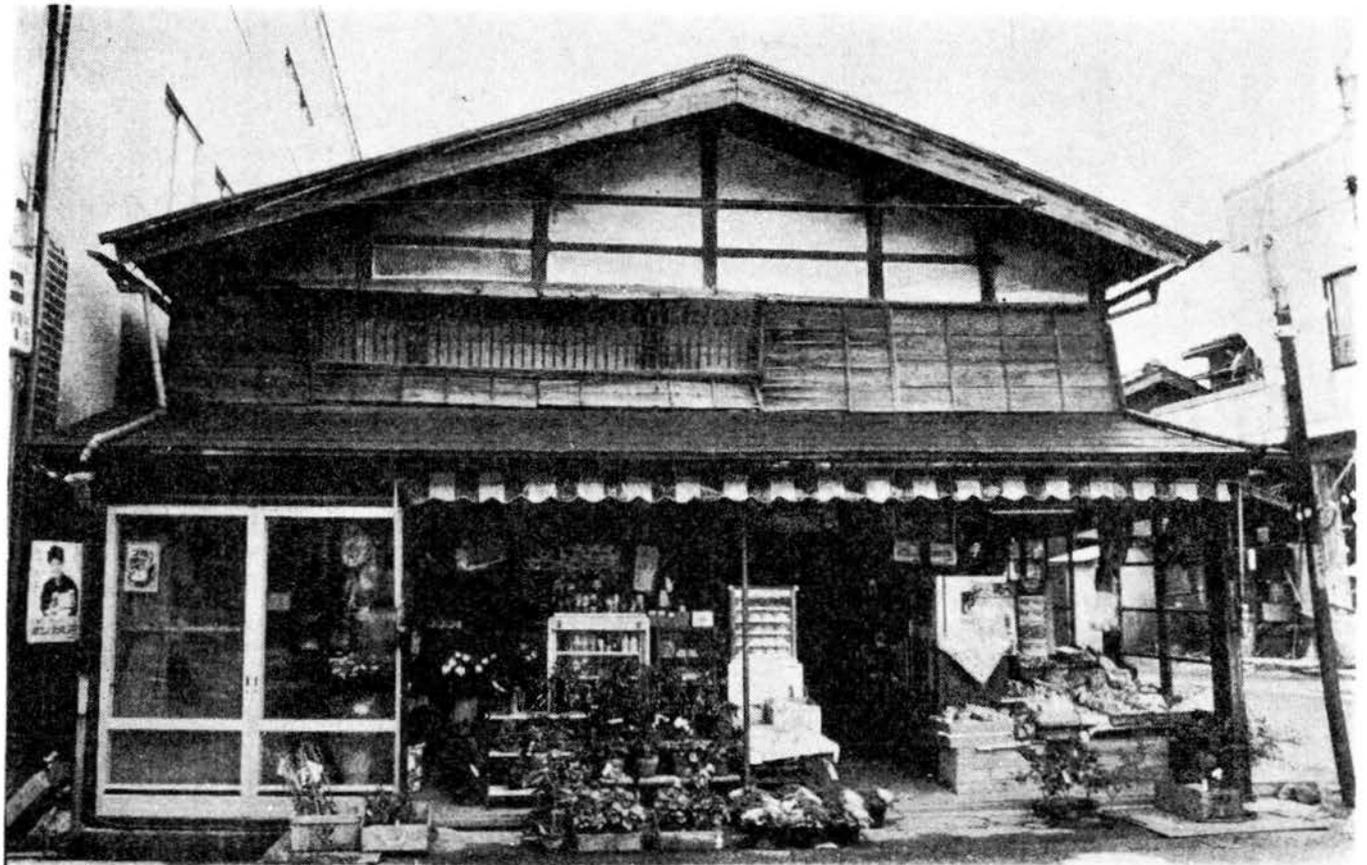


広報 あさひ

今月のおもな記事

- 中川雅一氏
4期連続当選……………(2)
- 人気をよんだ
朝日町文化祭……………(5)
- 昭和52年度決算
報告……………(6)
- 朝日町成人者名簿……………(8)

昭和53年12月10日発行 発行所 朝日町役場 ☎(07658) 3-1100 (〒939-07) 昭和32年8月8日第3種郵便物認可 定価25円 印刷 高田印刷



<本町 川上みよ宅>

民家を

たずねて

本町

藩政時代から越中東部随一の宿場町として
いんしんを誇った泊町。

ここ一新を過ぎて、北前船が大屋浜から蒸し
品を積んで行き、帰りは大塚のニシン粕が降
上げされた。

東京や越後へ行く旅人は、大屋浜から汽船
に乗って直江津から汽車に乗った。

おだやかな日は親不知の天険を越えて行く
旅人もあった。

藩政時代のいつのころからか、大屋浜へ下
る町角に

「おやすみ処」と看板を掲げた茶店ができた。
お伊勢詣りの親子連れも休んだ。

信濃へ行く売薬さんも、新川木綿を扱う商
人も休んだ。

汽船に垂る人はここで両親との別れを惜し
んだ。

そのときの茶店が
いまももとの場所に、昔のつくりそのまま
に。
それぞれの時代の物語りを秘めて残ってい
る。

朝日町長

中川雍一氏

四期連続当選



中川 雍一氏
(54歳)

昭和53年12月3日執行の朝日町長選挙は11月24日告示され、翌25日に立候補届出を締め切った結果、中川雍一氏(54歳、自民、現)のほかに立候補者がなく投票を待たず同氏の当選が決まりました。

12月4日、役場議会議場において選挙会、選挙管理委員会が開催された。選挙人の決定がなされた後、伊東選挙管理委員会委員長より、中川雍一氏に当選証書が附与されました。

中川雍一氏は、昭和41年12月に朝日町長に就任以来、三期町長を務め今回は四期目の当選です。
なお同氏の任期は昭和57年12月25日までです。

飲酒運転は絶対やめよう

年末年始の交通安全運動

12月11日から1月10日まで

師走にはいり人や車の動きもいよいよあわただしくなってきました。年末年始は、降雪による交通環境の悪化とともに、交通の混雑や飲酒の機会が多くなることから、多くの事故の誘発が心配されます。町民総ぐるみで年末年始の交通安全防止にとめましょう。

◎飲酒運転を絶滅しよう

いくら少量でも酒を飲んで運転をしてはいけないことは、いまさらいうまでもありません。また、飲酒運転をしてはならないこと、飲酒運転

新鋭ロータリー除雪車を購入

みんなの協力で雪のない道路を

いよいよ冬将軍、積雪による道路交通が不安な頃となりました。雪道の安全、より快適さをめざして道路除雪体制を確立するとともにこのたび最新のロータリー型除雪車を増強して本番に備えています。

道路除雪の効果を高めるため、つぎのようなことについてみなさんの積極的な協力をお願いします。
除雪実施時期 降雪状況により適宜実施しますが、通勤通学にあわせて

。飲酒運転の原因とならぬよう慣行、風習を積極的に見直す。
。飲酒運転の絶滅を家庭、職場、地域ぐるみで申し合わせる。

◎過労、速度の出し過ぎ、無理な追越し、信号無視等の暴走、無謀運転を追放しよう。
◎積雪時のタイヤチェーン、スノータイヤ装着を励行しよう。



早朝除雪を重点とします。

路上駐車は止 路上放置は除雪を妨めましょう。げ、衝突事故の危険があります。また故障駐車の場合は運転者の所在を明確にしてください

生活道路はみ 機械除雪にも限度があるので除雪を ありますので、部落内の生活道路は近所協力で除雪をお願いします。

家の前の堆雪 除雪車によって堆積の処理依頼 した戸口の雪や、屋根雪は、各々排雪処理をお願いします。

被害防止のため 除雪車によって被害めに標識を を受けやすい道路沿いの物件(植木、へい垣、畦畔等)には標識(赤布を付けたサオを立てる)をお願いします。また、溢水浸水しやすい側溝などは、近所共同で予め対策をご検討願います。

川や流雪溝の 溢水しないように、計画的投雪を 町内会や上下流の関係者と十分協議のうえ計画的に利用してください。また流雪溝のフタは開いたままで放置しないでください。苦情要望は町 困難な除雪実態に対し内会を通じて し、まず寛容をお願いするとともに、ご意見等はできるだけ町内会役員を通じてお願いします。

各道路の除雪 国道建設省黒部国 道維持出張所(☎0

765 〓 52 〓 1714)
県道 〓 富山県入善土木事務所(☎0765 〓 72 〓 1133)
町道 〓 町道路除雪実施本部(☎3 〓 1104)



〈写真はロータリー除雪車〉

叙勲の栄誉

従六位勲五等瑞宝章



故 折谷六郎左衛門氏

若年28歳にして折谷建設株式会社を興し自らその社長となり任年72歳まで45年間林道開発に従事、その間農林省林野長官賞をはじめ、全国森林協会、営林局営林署などから30数回表彰を受けるなど、林道新設工事の功績に対し、昭和52年8月2日逝去と共に、業界最高の従六位勲五等瑞宝章が贈られました。



この日は...

○川にゴミをすてない
ようにしましょう

○みんなの町、
みんなの川を美しく

○住みよい明るい町を
つくりましょう

川のゴミ視察 保健衛生協議会

去る11月11日、保健衛生協議会を始め、婦人会、区長、保健衛生委員各代表約30名が、町内の各河川および融雪溝の視察を行いました。

私達の日常生活から排出されるゴミがいまだに河川や融雪溝へ放置され山積となり汚染されています。

この事は、生活環境を汚染されるばかりでなく健康にも重大な支障を及ぼす恐れもあります。

特に目立ちましたのは、ナイロン袋、建築廃材、空き缶等の多量の不

法投票が後を絶たず視察者一同この現状を見て、刷、美化観念を強め今後広く啓蒙し、みなさまの御協力を願い活動を続けていきたいと思っております。

人権擁護委員に 気軽ににご相談を

人権週間

世界人権宣言が、昭和22年12月14日の第3回国連総会で採択されてから、今年30年目になります。世界各国では毎年この12月14日を「人権デー」として、人権擁護活動を推進するための各種の行事が実施されています。

我が国においても、毎年12月4日から10日までの一週間を「人権週間」と定め、全国的に各種の行事を行い、広く国民の人権意識の高揚を呼びかけています。

富山地方務局魚津支局、魚津人権擁護委員協議会では、このほど次のとおり行事を発表した。

特別人権法律相談所開設

12月19日 午後1時～午後4時
朝日町福祉センター

「お互いの人権を尊重しあい明るく住みよい社会をつくるよう努力しよう」

朝日町人権擁護委員

在田祐芳 電話2112164

上田憲二 電話2110127

小沢 浩 電話3113000

工業統計調査に ご協力を

通商産業省では、今年も12月31日現在で「昭和53年工業統計調査」を行います。

この調査は、製造業を営むすべての事業所と、その本店・支店を対象に実施されるもので、わが国の統計調査の中では、国勢調査と並ぶ最も重要な調査の一つです。

この調査によって、わが国の製造業の実態や、製造活動の状況が明らかにされるほか、調査資料は国民生活の中でも広い分野で活用されます。

また、各種製品の生産、販売計画

をみなさんが立てる場合にも参考に なります。

提出された調査票は、統計以外の目的に使用することは絶対にありませんので、調査票にはありのままをご記入ください。

年末年始のお忙しい中を調査員が伺いますが、ご協力くださるようお願いいたします。



あなたの老後を支える国民年金

年金請求の 手続きは早めに

年金を受ける資格がありながら、まだ請求の手続きをしていない方はありませんか。

国民年金では、加入された方が歳をとったり、障害者になったり、一家の中心である御主人をなくしたりしたときなどに、年金が支給されますが、そのためには「裁定の請求」という手続きが必要です。

もし、あなたが国民年金に加入しており、次のどれかに該当しているときは、すぐに国民年金係に相談し

てください。

○六十五歳に 老齢年金

なったとき 通算老齢年金

○障害者になったとき 障害年金

○母子家庭になったとき 母子年金

○祖母と孫、姉と弟妹の 家庭になったとき 準母子年金

○孤児になったとき 遺児年金

○寡婦になったとき 寡婦年金

○死亡したとき 死亡一時金

なお、詳細なことや不明な点は国民年金係におたずねください。

国民年金係(電話311100)内線29

応募してみませんか

新有権者感想文

自治省・明るい選挙推進協議会では成人式を迎えた者または迎える者の新成人としての感想や選挙を経験したことなどにより地方自治や国政への参加について感じたことなどの感想文を募集しています。

新有権者のみなさん、ふるってご応募ください。

新有権者感想文実施要領

◇応募内容と標題

成人を迎えた者または迎える者の新有権者としての感想、または選挙を経験したことにより地方自治や国政への参加について感じたこと、標題は自由です。

◇字数

2,000字以内(400字詰原稿用紙5枚以内)

◇応募資格

昭和33年1月1日から昭和34年12月31日までに生まれた者

◇締切日

昭和54年1月31日

◇提出先

朝日町選挙管理委員会

◇入選発表

昭和54年3月下旬

◇表彰

優秀作品には賞状ならびに副賞が授与されます。

なお詳細については朝日町選挙管理委員会(役場内電話311100)へお問い合わせください。

年始 年年

みんなそろって明るい正月

歳末特別警戒の実施について

年末から年始にかけて、人の動きもあわただしくなり、加えて、暖房器具などの火気使用がグリーンとふえます。

また、この時期は、忘年会、クリスマス、正月——と飲酒や外出の機会が増え、火に対する注意がややもするとおろそかになりがちです。

このような時期に町民の防火意識の向上と人命損傷事故の絶無を期すために、次の要領で歳末特別警戒を実施します。

◎サイレン吹鳴

▽吹鳴日時
12月28日から12月31日まで

午前7時と午後9時の2回

▽吹鳴方法
演習招集信号

15秒 6秒 15秒 6秒 15秒

▽吹鳴区域
朝日町全域

朝日町消防団出初式

一月六日(土)

恒例の朝日町消防団出初式は、1月6日(土)に行われます。

当日は、朝日町全域にわたり、午前7時に演習招集方法の要領によりサイレンを吹鳴します。

農地の転用は 必ず許可をうけて

農地(田や畑)を住宅や作業場、植林等に転用するには、県知事の農地転用許可を受けなければなりません。これが農地法で定められています。

このため、自己所有の農地であってもかつてに転用することはできません。違反転用をした場合は、原状回復等の措置や罰則の適用がなされることもあります。

農地を転用するには、当事者が許可申請書に関係書類を添えて農業委員会へ毎月20日までに提出してください。農業委員会では、その申請が

適当かどうかを判断し、県へ進達します。さらに県では必要に応じて現地調査を行い、県農地部会にはかつて許可、不許可の指令書が申請者に交付されることとなります。

このため、申請されてから許可になるまでに約50日以上を要することになります。建築物を建てる場合は、建築確認申請の確認を受けても農地転用許可がなければ事業に着手することはできません。

なお、農地転用には、転用許可基準によって地域的に農地が区分され転用目的に制約がありますので、詳しいことは農業委員会(☎311100内線33)へおたすねください。

国有林地内治山事業完成

当町は多くの山林面積を有しておりますが第三紀層特有の崩壊性の地質と急しゅんな地形および多雨、多雪、また、たび重なる集中豪雨により林地における崩壊区域が拡大しており、特に国有林の崩壊地については、山ぎわでの土砂流出を防止するため富山営林署において治山事業を毎年継続して実施しております。

昭和53年度において小川、および境川において堰堤が完成し、下流への土砂流出が防止できます。

〈写真は完成した砂防堰堤〉



梅秋号が優等賞

近畿・東海・北陸連合肉牛共進会―肉用牛のチャンピオンを決める第26回近畿東海北陸連合肉牛共進会が11月21日から3日間福井県三国町で開かれ、富山県代表の山崎の水野甚之輔さん所有の肉用和牛「梅秋号」が見事優等賞を勝ち取りました。

この共進会には、近畿東海北陸の11府県から、よりすぐられた130頭の

出品があり、日本の畜産界の権威により、肥育状況、資質、体積、均称などが厳しく採点され、その結果去勢牛部門で優等賞になったもので、有名な肉牛の産地県を抑え、しかも初出品の水野さんが優等賞に輝いたことで富山県の畜産関係者の喜びは大変なものです。

〈写真は優等賞を受けた梅秋号〉



林道蛭谷線が 林野庁長官賞受賞

林道維持管理コンクール―

11月13日、東京都水田町の全国町村会館で行われた日本林道協会総会の席上で蛭谷線林道愛護組合(組合



〈写真は林道蛭谷線〉

長・米丘寅吉氏)が林道維持管理コンクールで林野庁長官賞を受けました。

これは永年路面の補修や小災害の復旧を行い、災害を未然に防ぐようにと組合員が力を合せて行っており特に近年、路面保持のため自力でコンクリート舗装を行うなど、その功績が認められたものです。

保育所の 入所申込み

12月20日
までに

昭和54年4月からお子さんの保育所入所を希望される方は、12月11日から20日までの間に、最寄りの保育所へお申し込みください。

申込書は、各保育所にあります。なお、給与所得者の場合は、昭和53年分給与所得の源泉徴収票を昭和54年2月5日までに提出願います。詳しいことは、最寄りの保育所または住民課福祉係(☎311100内線28)へおたすねください。

町営工事入札状況

100万円以上

- ◇除雪車庫増築移築工事
工事費 400万円
工期 10月20日～12月10日
- ◇朝日町保健センター新築工事
工事費 10,300万円
工期 10月25日～昭和54年3月31日
1階 243.96㎡
2階 259.96㎡
3階 247.92㎡
- ◇不動堂遺跡周囲土留工事
工事費 505万円
工期 10月30日～昭和54年3月20日
- ◇町道道下～沼保線拡幅改良工事
工事費 600万円
工期 11月11日～昭和54年3月15日
延長 124m 幅員 5.0m
- ◇林道棚山線側溝改良工事
工事費 487万円
工期 11月11日～昭和54年3月20日
延長 536m
- ◇町道三浦町海岸線路側溝改良工事
工事費 233万円
工期 11月8日～12月20日
延長 126.5m
- ◇林道谷線開設(2工区)工事
工事費 945万円
工期 11月14日～昭和54年3月20日
延長 234m 幅員 4.0m
- ◇町道泊～桜町線改良工事
工事費 2,010万円
工期 11月11日～昭和54年3月15日
延長 172.75m 幅員 10.0m
- ◇中沢～下野線舗装工事
工事費 177万円
工期 11月13日～12月15日
延長 203m
- ◇町道野中～小在池線舗装工事
工事費 182万円
工期 11月13日～12月15日
延長 168.5m
- ◇鉄工用地線舗装工事
工事費 1,110万円
工期 11月13日～12月15日
延長 382m
- ◇基幹作業道中谷線開設工事
工事費 1,465万円
工期 11月16日～昭和54年3月20日
延長 642.5m 幅員 3.0m
- ◇農村総合整備モデル事業
農道第9号舗装工事(下山新地内)
工事費 510万円
工期 11月20～12月20日
延長 545m
- ◇農村総合整備モデル事業
農道第3号舗装工事(高品地内)
工事費 285万円
工期 11月20日～12月20日
延長 308.6m
- ◇農村総合整備モデル事業
農業集落道第11号舗装工事(殿町地内)
工事費 287万円
工期 11月20日～12月20日
延長 311.5m

人気を朝日町文化祭 よんだ朝日町文化祭

恒例の朝日町文化祭は、泊公民館、中央公民館の共催により、11月3日から19日まで、朝日町福祉センターの他、会場において、美術展をはじめ、生花、陶芸、魚拍、菊化、盆棧、茶道、詩吟、謡曲、句会、音楽会等、各部門別に盛んに実施されました。



写真真は美術展

写真真は生花展

写真真は陶芸展



朝日町 50年史発行 職工会

朝日町は、旧泊町時代から職人の町の異名のあるほどに、大工、左官石工、畳職など、現在約500名の技能者を擁しているが、これらの技能者たちは昭和4年にはじめて組合を組織し、技能の神として仰ぐ聖徳太子を守護神として祀り、太子祭りを実施して毎年10月14と15日の両日に太子奉賛祭を行って今日に至っており、本年は創立50年に当るので、朝日町職工会(会長稲村持吉氏)では、去る10月14と15日の両日に、大々的に記念行事を行った。

一方、本年6月頃からこれを記念して職工会50年史の編さんが進められていたが、このほど「朝日町職工会50年の歩み」として発刊された。

内容は、建築のうつり変りに伴う職人のおこりや、大工、左官などの職名の由来、賃金のうつりかわり落政時代からの泊町における職人のうごき、太子祭の変遷など、50

の歩みと共にくわしく述べられ、貴重な歴史書としての体裁が整えられている。

写真真は発刊された50年の歩み



善意の預託

朝日町善意銀行

社会福祉のために、次のかたがたから善意の預託がありました。

朝日町錦鯉愛好会より1万5千円
笹川 小塚多寿子さんより5千円

高齢者の 学習熱さかん

生涯教育の一環として、本年5月から開講中の中央高齢者教室は、受講生の好評を受け実施されています。本年の学習課題は身体を動かすものが多くとり入れられております。先般基督集落センターを会場として開かれた「郷土の民謡と芸能」では、大家庄地区田植歌保存会長、高田憲次郎氏を講師とする田植歌の学習と、郷土の民謡では富山県民俗の会の高岡元三氏の「あわら田」の話に学級生は全員熱心に学習に参加していました。

写真真は高齢者学級学習風景



環境の整備を促進 — 昭和52年度決算報告

前年度に比べると、
歳入 1億2,125万円 3.6%
歳出 4,847万円 1.5% の減となりました。

- ・清掃事業等 6,659万円
- ・都市計画街路事業 1億 286
- ・道路新設改良事業 1億8,629

教育条件の整備

- ・小、中学校運営費 1億9,326万円
- ・宮崎小学校プール建設 2,247
- ・スクールバス購入 447
- ・公民館等社会教育費 2,389
- ・スポーツ振興費 2,977

産業基盤の整備

- ・農業構造改善事業 2,841万円
- ・広域農道整備事業 2,598
- ・農村総合整備事業 9,285
- ・林道の開設と舗装 1億 709
- ・造林事業 3,415
- ・山村振興事業 2,920
- ・漁港改修事業 1,812
- ・商工業振興 3,834
- ・観光事業 2,234

郷土の保全

- ・消防自動車購入 750万円
- ・かけ地等危険住宅移転 722
- ・災害復旧事業 3,726

などであります。

これらのほかに、広域圏事業負担金 5,087円万や公債費 1億 2,638万円などが歳出の主なものであります。

このように「朝日町総合計画基本構想」に基づいて住みよい町づくりの実現を積極的に推進してきました。

特別会計

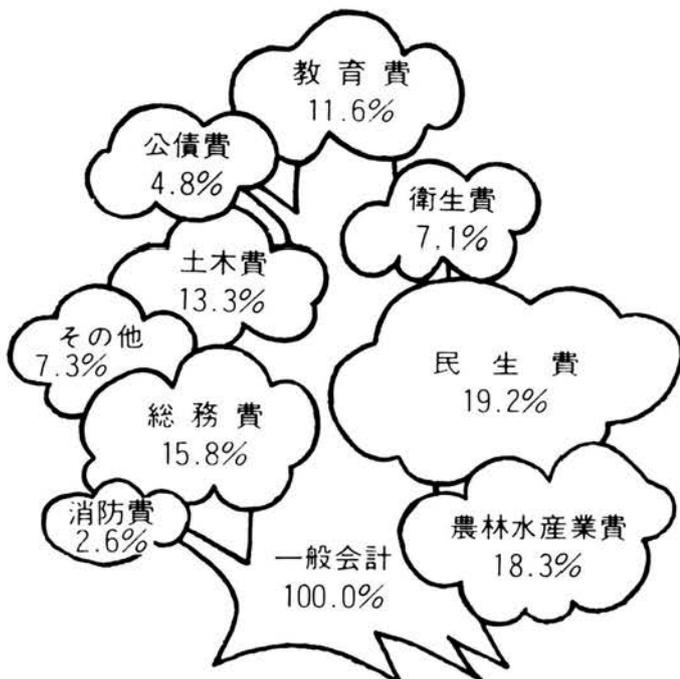
	歳入 万円	歳出 万円	差引 万円
◎国保会計	51,753	45,798	5,955
◎診療所会計	4,162	3,732	430
◎簡易水道会計	1,423	1,354	69
◎用水会計	340	337	3
◎奨学資金会計	150	143	7

企業会計 (泊病院)

	歳入 万円	歳出 万円	差引 万円
収益的収支	100,706	96,663	4,043
資本的収支	5,719	6,279	△560
計	106,425	102,942	3,483

◇町民1人当り決算額◇

歳出 (目的別)	決算額	町民1人当り
議会費	56,336千円	2,877円
総務費	413,325	21,110
民生費	503,151	25,697
衛生費	185,378	9,468
労働費	28,783	1,470
農林水産業費	477,083	24,366
商工費	66,478	3,395
土木費	348,989	17,824
消防費	68,656	3,506
教育費	304,041	15,528
災害復旧費	37,361	1,908
公債費	126,384	6,455
合計	2,615,965	133,604



住みよい町づくりを基調に生活

◇ あらまし ◇ 昭和52年度の決算規模は一般会計と特別会計を合わせて

歳入	32億2,778万円	(前年度33億4,903万円)
歳出	31億2,961万円	(前年度31億7,808万円)

一般会計

◎収支 3,353万円の黒字

昭和52年度の一般会計決算額は、

歳入 26億4,950万円(前年度28億2,006万円)

歳出 26億1,597万円(前年度26億9,624万円)

で前年度と比較して、歳入では1億7,056万円、6.0%の減、歳出では8,027万円、3.0%の減となりました。

歳入から歳出を差し引いた実質収支は、3,353万円の黒字となり、このうち将来の財政の調整資金として、1,700万円を積み立てて、健全な財政運営を図っていきます。

◎歳入

地方交付税 8億1,506万円

歳入決算のうち、最も多いのは地方交付税8億1,506万円で、前年度より828万円、1.8%の増となり、歳入の30.8%を占めています。

次いで国、県支出金の6億5,032万円で、前年度よりも16.5%の減にはなったものの歳入の24.6%にあたります。

町税は、5億4,311万円、15.2%の増で、歳入全体の20.5%にあたり、これを町民1人当りにしますと、27,738円となり、町民1人当りの行政費133,604円の20.8%に相当します。

このほかに、学校プール新設、道路新設改良や消防自動車、スクールバス購入等の各事業にあてるための町債2億1,933万円、保育料8,111万円、造林事業、林道事業や、農道事業などにあてた分担金8,700万円などが、歳入決算の主なものであります。

◎歳出

投資的経費は9億6,574万円

歳出決算を目的別にみますと、大きな比率をしめているのは民生費、農林水産業費、総務費、土木費及び教育費の順となっており、全体の経費の78.2%となっています。

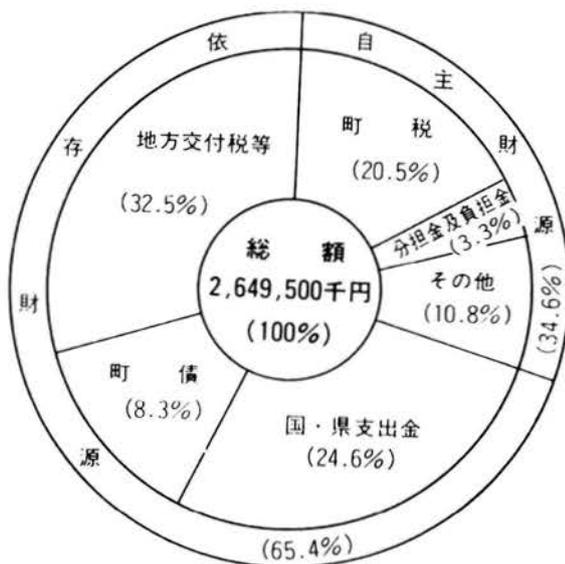
次に性質別に分類すると義務的経費42.6%、投資的経費36.9%、その他の経費20.5%となっています。

歳出の内容を「生活環境の整備」、「教育条件の整備」、「産業基盤の整備」及び「郷土の保全」の四大施策別にその主なものを列挙しますと、

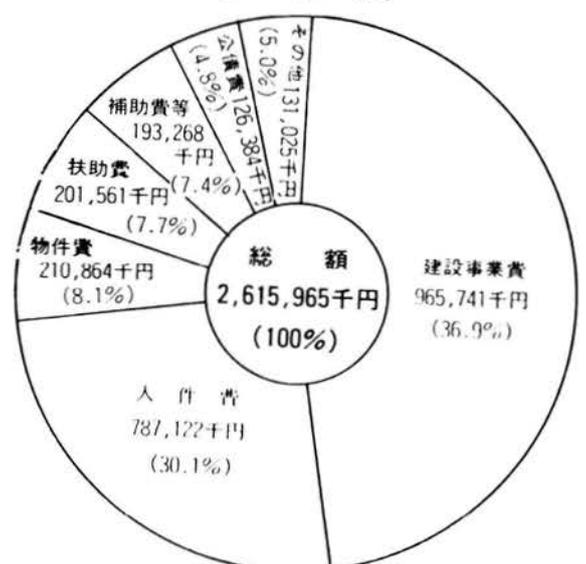
生活環境の整備

- ・行在所周辺環境整備費 1,244万円
- ・町政バス(巡回車)購入 500
- ・高齢者医療費 1億1,612
- ・老人福祉費 1,461
- ・乳児等医療費 569
- ・児童手当の支給 1,773
- ・保育所運営費 2億7,050
- ・予防接種と住民検診 775
- ・地下水調査と環境美化 2,421
- ・泊病院事業への出資、助成 2,907
- ・簡易水道事業への助成 620

歳入の状況



歳出の状況 (性質別)





お慶喜や喜付などを
政治家が贈ることも
有難者が求めることも
法律で禁じられています
朝日町選挙管理委員会

検察審査員の 選任について

朝日町選挙管理委員会では、毎年一月に検察審査員候補者の選定を行っています。

一般になじみが薄いせいゝか選定方法やその職務に関する問い合わせが多いのでこの制度の概要をお知らせします。

〈名称〉 魚津検察審査会(魚津・黒部・人善・朝日・宇奈月の各市町で構成)

〈事務〉 検察官が起訴しなかった事件の適否や、検察官の事務改善に関することを審議する。

〈組織〉 くじで選ばれた11人で構成。

〈選定方法〉 ①各市町でくじ(無差

別)により候補者を選定、②各市町より選定された候補者の中から検察審査会事務局局長がくじで11人を選定。

なお昭和54年度の朝日町の候補者は56名です。

検察審査会及び検察審査員に関する詳細については選挙管理委員会へお問い合わせください。(番311-100内線15)

スポーツ行事・成績

第1回町民 駅伝マラソン大会

11月12日

▽地区対抗の部

①五箇庄地区 60分52秒

②山崎地区A 61分24秒

③山崎地区B 64分16秒

④大庄地区A 64分39秒

⑤宮崎地区 65分1秒

▽クラブ対抗の部

①酒高校陸上部 57分54秒

②小川中学校バスケットクラブA 62分35秒

③朝日軟式庭球クラブ 64分55秒

④小川中学校野球部A 64分59秒
⑤小川中学校野球部B 65分34秒

第二回 夜間バレーボール大会

▽男子

①高校教員

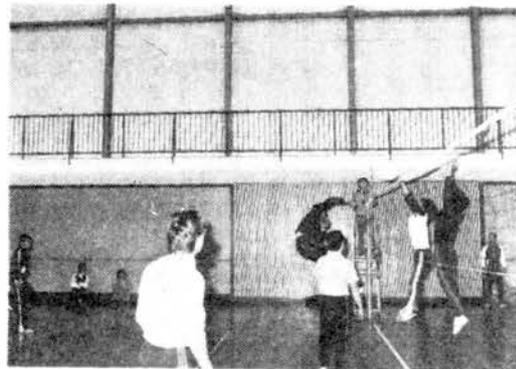
②大庄ヤンキース

▽女子

①笹川

②酒・区美人会

〈写真は夜間バレーボール〉



おしらせ

12月(師走)

- 15日 年賀郵便取扱
- 22日 冬至
- 23日 皇太子誕生日
- 25日 クリスマス
- 28日 官公庁執務納め
- 31日 大晦日・除夜祭

1月(睦月)

- 1日 元日
- 2日 初荷
- 4日 官公庁執務始め
- 6日 小寒
- 7日 鏡開き

本町の人口

男	9,188人
女	10,318人
計	19,506人
世帯数	5,021戸

53年12月1日現在

〈今月の表紙〉

二十五軒町の一角に(二十五軒町とは泊本町の昔の呼名である)二百有余年間、大切に守り続けられてきた商家の川上宅がある。

同宅は約二六〇年前、泊町が元屋敷より移転した当初頃の建物で江戸時代中頃の様子をそのままに今日に残している朝日町唯一の家である。

前口4間、奥行11間半の切妻型妻入り板葺(戦後トタン葺にする)の家である。商家にふさわしく前二ワを持ち、前をミセにした構えである。前口いっぱいのがぎは今ではサッシ戸がはめられているが、昔は雨戸などはなく、外との戸締りはミセとガギの界にある「シトミ戸」(この家のシトミ戸は6尺×3尺の板戸2枚を横にした引上戸)によって区切られていた。今もその引上戸は昔のまま残されている。

オエの間は坂張りで大きなイロリが切つてある。昔はバリアの間を含めた大きなオエであったのだろうが、何時頃から間仕切りされてオエとバリアになった。バリアと

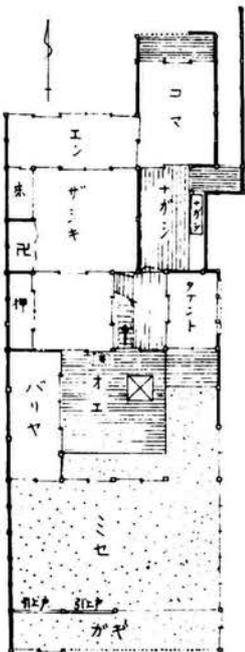
はあまり聞かない言葉だが中新川あたりにもあり、やはりオエを仕切った部屋のことをいう。おそらく部屋を割って使用することの「割屋」からなまってきた呼名であろう。

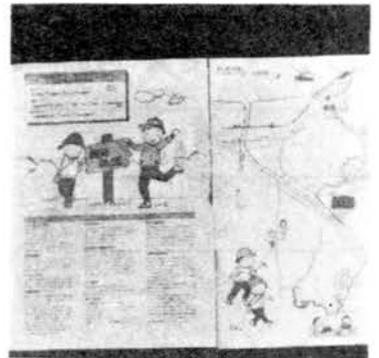
オエは天井を張らず、高く屋根裏まで見通せ、梁組が見え、家の小屋組がよくわかる。

二百有余年前はどのような商いをしていたか定かでないが、ある時期には「お休み処」として旅人がオエのイロリを閉み、あるいは上り櫃に腰を掛け一服の番茶や冷酒をのみ、つかれをいやした事もあった。汽車が越中越後を開通しないとき旅人が舟で大庄海岸にありこの家で休んだという。ガギの右端には裏表に「御休処」「おやすみ処」の文字のかかれた看板がつりさげられていた。

建物全体は農家などの出し屋等の大改造はなく、わずかにオエを簡単に板戸で仕切ったバリア作りをしただけという建築当初の姿を現在に残しており、このため国の重要文化財指定の話もでた非常に貴重な文化遺産の商家といえよう。

本町 川上みよ宅





あり、春・夏・秋の自然の探さくが
楽しめます。
このパンフレットは産業課にあり
ますのでご利用ください。

新着図書案内

朝日町立中央図書館

一般図書

時刻表二万キロ 宮脇 俊三
体操で治す腰痛肩こり 森 健射
生きることの意味 田中美知太郎
板前さんの知恵 小ま書房
手づくりの絵本(お人形) 雄鶏社
石仏の里にて 室生 朝子
文学の輪郭 中島 梓
街道を行く(上) 司馬遼太郎
新しい基礎スキー 平沢 文雄
あなたを愛えるスキーの本 小原 唯一

二、四歳のかわいいあみもの
越中山座図巻 北日本新聞社
正伝部小平 高木 佳蔵
小説
孤独な夜のココア 田辺 聖子
水の肌 松本 清張
夕暮まで 吉行淳之介
運の矢 池波正太郎
わが町わが旅 水井 路子
人狼天使一、二部 平井 和正
不倫碑 笹沢 左保
浅の川景色 五木 寛之
夏 中村真一郎
夜の残り 川上 宗薫
白の十字架 森村 誠一
日本地名大辞典 東京都 角川書店
児童図書

ハイキングコース パンフレットできる

このたび、林道棚山線が開設され
宮崎の城山線林道から三峯線を経て
棚山線へ至る朝日町を縦断する林道
三路線が県道・町道を連絡し接続し
ました。

学校の遠足やレクリエーションの
場として大いに利用していただくた
めに、林道のハイキングコースおよ
び見どころを紹介したパンフレット
を作成しました。

これらは、城山・三峯・棚山の各
コースを紹介し、各々違った趣きが
ある。

寄贈図書 森 群平
大日本地名辞書 全八巻 富山 房

相談ごとご案内

△行政相談

日時 1月第2火曜日
午前10時～午後3時
場所 朝日町福祉センター
相談員 川上嘉一(☎3-0050)

△人権法律相談

日時 12月19日(火)
午後1時～午後4時
場所 朝日町福祉センター
相談員 人権擁護委員
上田憲二(☎2-0127)
佐田祐芳(☎2-2164)
小沢 浩(☎3-3000)

△心配ごと相談

日時 毎週火曜日
午前10時～午後3時
場所 朝日町福祉センター
(☎3-0576)

△交通事故巡回相談

①日時 第3月曜日
午前10時～午後3時
場所 黒部市中央公民館
②日時 第3水曜日
午前10時～午後3時
場所 県魚津総合庁舎内
魚津地方県民相談室

もうすぐ
冬將軍がやってくる
雪が降ったら
電線に注意を!

北電だより



テレビのアンテナや煙突などの補
強は、すみませんでしょうか。
雪で木の枝が電線にふれませんか

郵便局だより

○雪おろしの際には電線にふれない
よう注意しましょう。
○危険な箇所がありましたら
北陸電力(株)泊営業所
(☎3-00028)

。年賀状の差し出しは12月20日ま
です。
。年賀状は12月15日から受付が始ま
ります。12月17日の日曜日に年賀状を
書いて20日までに差し出してくださ
い。
。年賀状は町内(輪島地区を除く)県
内、他府県に分けて「文字」に束ねて
お出してください。
。赤で年賀の表示を
お年玉つき年賀はがき以外の普通の
はがきを年賀状として出されるとき
は表面に年賀と朱書してください。
。郵便番号もお忘れなくはつきりと
お書きください。
。年末贈答用小包は年内にお届けす
るために早目にお出してください。

スキー教室

参加者募集

◆期 日 昭和54年1月27日(土)
～29日(月) 2泊3日
◆会 場 新赤倉スキー場
◆受講対象者 初心者、初級者、中級
者(3級程度)
◆受講者
。50名(申し込み順)
。朝日町内に居住、勤務する者
。全日程を確実に参加できる者
◆参加費 1人、12,000円
◆申込み
。所定の申し込み用紙に必要事項
を記入の上、申込金 2,000円を
添えて申し込む
。申し込み締切り後、受講を取り
消しても申込金は返還しない
◆申し込み、問い合わせ先
朝日町教育委員会
(☎2-1104)

みんなの保健

(決められた日時に受けられない方は)
(最寄りの会場で受けてください。)

〈12月〉							
事 業	対 象 者	日(曜)	時 刻	会 場	対 象 地 区	備 考	
母 子 保 健	3歳児検診	50年8月生	19(火)	午後1:00~2:00	福祉センター	全 地 区	母子手帳持参
	3カ月児検診	53年9月生	21(木)	午後1:00~2:00	福祉センター		検査料 1500円
	股関節脱臼検査		泊 病 院				
	母親学級	妊婦全員	22(金)	午後1:00~3:00	福祉センター		
	3種混合接種	2歳から4歳で通知のあった人	25(月)	午後1:00~3:00	職工会館		境、宮崎、館川、五箇庄
			午後1:30~3:00	農業センター	大家庄、南保山、崎		
成人病予防	成人病教室	希望者	18(月)		大家庄農協	大 家 庄	健康手帳持参
		希望者	20(水)	午後1:30~3:00	中央農協所	五 箇 庄	
		希望者	26(火)		生活改善センター	宮 崎	
健康づくり	健康体探	希望者	21(木)	午前9:30~12:00	福祉センター	全 地 区	
	婦人の健康づくり習	婦 人 層	17(日)	午後1:00~3:00	羽人農家組合	羽 人	
〈1月〉							
成人病予防	婦人の健康づくり習	婦 人 層	7(日)	午後1:00~3:00	福祉センター	泊 3 区	健康手帳持参
	健康相談	希望者	12(金)		黒部保健所	全 地 区	
	成人病教室	希望者	12(金)	午後1:30~3:00	南保公民館	南 保	
	老人健康教室	65歳以上	18(木)		大家庄農協	大 家 庄	

はしかの予防接種 実施のお知らせ

このほど、予防接種法に基づく定期の予防接種に麻疹(はしか)が加えられ、朝日町では、12月から次の要領で実施します。

記

○接種の対象者

原則として満1歳6カ月の幼児

○接種の申込み

接種を希望される方は、町の1歳6カ月児検診の会場で申し込みをされて予防接種券の交付を受けてください。

(1歳6カ月児検診の会場以外では、予防接種券の交付をしません。)

○接種料金

無料

○接種医師

接種を受けることのできる医療機関、日時等は次のとおりです。

ただし、7月8月は、接種を行いません。

◆医療機関および医師名

松倉医院 松倉利喜
坂東医院 坂東健一
伊東医院 伊東憲一
泊 病院 桜井富夫
大鳥寛治

◇接種日および時間

日曜日、祝祭日、休診日を除く各医療機関の通常の診療時間

○接種期間

予防接種券の交付を受けてからできるだけ1カ月以内に接種を受けてください。ただし、7月、8月に交付を受けた方は、9月に接種を受けてください。